

平成19年度 21世紀土地改良区創造運動 **近畿地方大賞** 決定！

去る7月5日、近畿水土里ネット連合協議会と21創造運動支援連絡会議共催の「21世紀土地改良区創造運動大賞 近畿地方大賞選考委員会」が開催されました。

21世紀土地改良区創造運動とは、農業農村を取り巻く近年の大きな状況変化に対応し、新たな土地改良区（水土里ネット）を創造していくことを目的として、水土里ネット自らがこれまで果たしてきた役割の重要性を認識しつつ地域における**新たな活動に主体的かつ積極的に取り組む内部運動**、それら活動を広く社会に紹介して**国民的な理解と協力を得る外部運動**を一体的に展開しようというものです。「**水土里ネット**」という愛称が決定されたのも、この一環です。

また、それらの優れた取組みを全国に紹介し、また関係者の運動意欲の高揚と国民へのアピールを行うため、平成15年度から21世紀土地改良区創造運動の全国大賞が、また16年度からはその前段となる地方大賞の選考と表彰が始まりました。

今年の近畿地方大賞の選考は、三野委員（京都大学名誉教授）、大谷委員（京都府立大学人間環境学部教授）、門野委員（神戸新聞論説委員）、吉兼委員（明日香村稲淵棚田オーナー会 会長）、入江委員（和歌山県立自然博物館元学芸課長）の5名により行われ、当日の選考委員会には選考対象の各水土里ネット、府県水土里ネットなど約30名が出席しました。

21創造運動支援連絡会議リーダーの松田整備部次長による挨拶、事務局からの21創造運動等の概要説明に引き続き、各地区の取組みについて、正面スクリーンを用いたプレゼンテーションが行われ、それに対して選考委員から「クリーンアップ作戦でのゴミの回収量」「エコファーマーへの取組状況」「取組に至った経緯」「伝統芸能をどのように守っていくのか」「出前授業の取組内容」といった質問や議論が交わされました。

その後の委員審査により、近畿地方大賞と優秀賞が次のとおり決定しました。また、各地区の特徴的な取組みを踏まえ、選考委員会から称号が贈られました。

近畿地方大賞：水土里ネット海部（京都府）

水土里ネット笹野（兵庫県）

優 秀 賞：水土里ネット湖北（滋賀県）

水土里ネット長柄（奈良県）

水土里ネット日高川（和歌山県）

「**子供達の教育チャレンジャー**」

「**地域づくりパイオニア**」

「**地域連携ネットワーク**」

「**地域づくりクリエイター**」

「**地域協働エキスパート**」

この結果は、今後予定されている21創造運動地方セミナーで表彰されるとともに、その取組み内容紹介とパネルディスカッションが行われます。なお、近畿地方大賞受賞地区は、その後中央選考委員会に推薦されました。来る10月に三重で開催される全国土地改良大会でも晴れて表彰されるよう、心から期待したいと思います。

